

薬局が地球を救う
ユニケの取り組み

(株)ユニケソフトウエアリサーチは、このほど「薬局が地球を救う」支援を行う。世界中の子どもたちへの支援として、全国の調剤薬局を対象に販売している「CO₂排出量削減」「石油資源の節約」となる植物(サトウキビ)を原料とするグリーン(バイオ)ポリエチレンを配合した袋(バイオレジ袋)の売上の一部を社会貢献活動の一環として、「子供地球基金」へ拠出する。同社が7月29日に発表した。

容器包装リサイクル法改正によって7月1日から、小売業に属する事業を行う事業者を対象として、消費者が商品の持ち運びに用いるためのプラスチック製買物袋の有料化が施行された。薬局においても、患者や利用者へ薬や薬の説明書を渡す際に利用していたレジ袋がその対象となっている。

これを受けて同社は、バイオレジ袋の販売をスタートし、その売上の一部を明るい未来の地球を支える世界各地の子どもたちのアート活動を応援している子供地球基金に対して寄付することとした。また、薬局利用者へレジ袋利用抑制を呼びかけるために、子どもたちの描いた絵を用いた薬局内掲示用のポスターを製作。ポスターはサイトから無料でダウンロードできる。

薬局が地球を救う
ユニケの取り組み

薬局が地球を救う
ユニケの取り組み